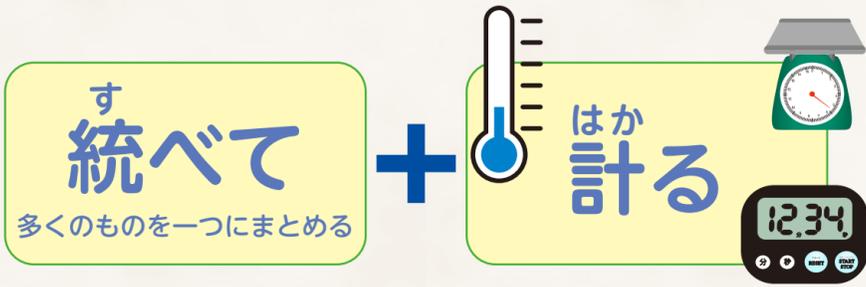


統計とは？ 統計グラフとは？

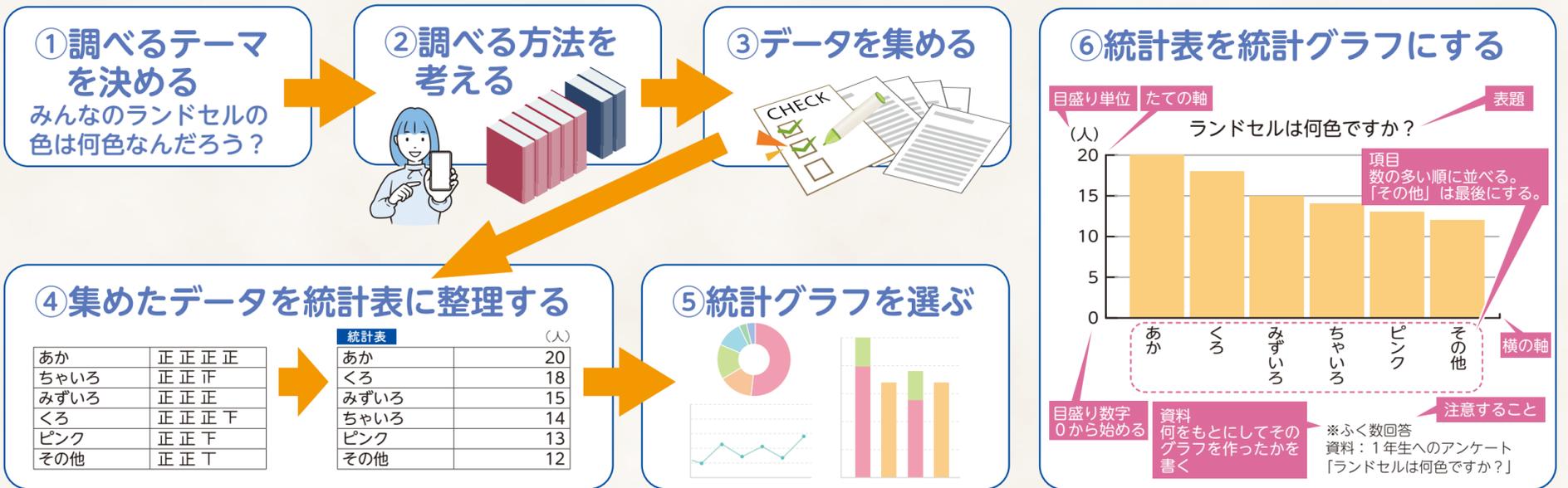
統計とは



わたしたちは気温の変化や天気、植物の成長などの自然現象のしくみや、地域や社会の集団の特徴などを知るために、観察したり、調査したり、実験したりして、データを集めて、それを整理し、集計します。このようにしてまとめた表やグラフ、集計した数値を「統計」といい、その数字をグラフにしたものを「統計グラフ」といいます。

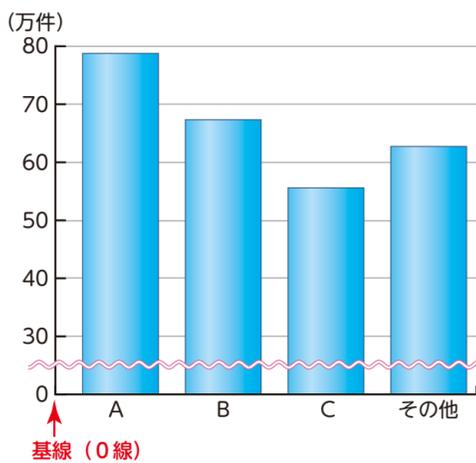
東京都総務局統計部HP「東京都の統計」(まなぼう統計)より

統計グラフを作ってみよう！ (統計グラフの作り方)



主な統計グラフの特徴と作り方のポイント

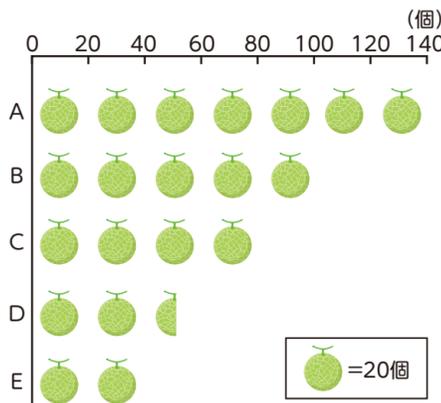
棒グラフ (2つ以上の数の違いや大きさを比べるのに適しています)



▼ポイント

- 棒は必ず0の目盛り線(基線)の上に立てる。
- 目盛り数字の間隔は同じにする。
- 数量の大きいものから順に並べる。
- 「その他」は数がどんな大きさでも最後にする。
- 波線または二重線で途中を一か所だけ省略できる。

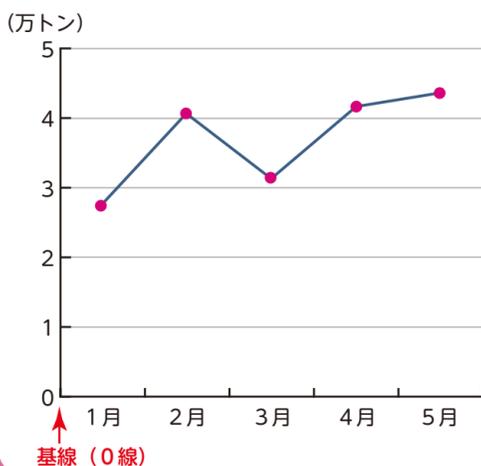
絵グラフ (表現や観察のしやすいグラフです)



▼ポイント

- 絵は同じ形、大きさにそろえる。
- すべての絵を同じ単位にする。
- 一つの絵の数値を示す単位の凡例を必ず表示する。
- 絵の始まりをそろえて、同じ間隔にする。

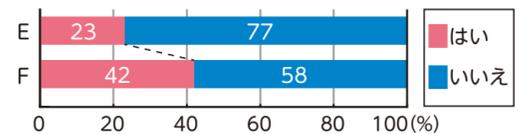
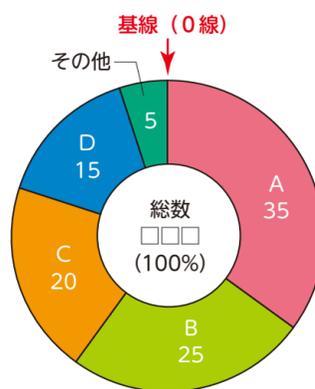
折れ線グラフ (数が変わっていく様子を見るのに適しています)



▼ポイント

- 基線は必ず0にする。
- 縦軸に数量、横軸に時間をとる。
- 時間の目盛りは、時間が経過した長さで目盛りの間隔を比例させる。

百分比グラフ (内訳の構成比(%)を見るのに適しています)



▼ポイント

- 基線(0線)は円の中心から真上にのぼす。
- 数の大きい順に時計回り(右周り)に並べる。「その他」は最後にする。
- 目盛りはつけず、内訳については百分率(%)で表すのが一般的。
- 同心円の中心に全体の総数等を入れると分かりやすい。